

平成30年度
学校自己評価報告書

平成31年4月
東京歯科衛生専門学校

I 教育目標および教育方針

【教育目標】

確かな専門能力をもつ歯科衛生士
人々に信頼され、心を癒せる健康支援者
判断力、創造力、行動力をもつ歯科衛生士

上記の目標を目指し次の事柄を修得させることを本校の教育方針とする。

【教育方針】

- ① 医療倫理に基づいた寛容な人間観
- ② ライフステージに合わせた健康管理および地域歯科保健活動能力
- ③ 正確で安全な歯科医療を提供するために必要な知識と技術
- ④ 相手の立場にたったコミュニケーション能力
- ⑤ 生涯学習の必要性の理解

II 平成30年度 学校自己評価について

1、基本的な考え方

本校では、30年度より学校評価事業を開始いたしました。初年度ということもあり、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目について実施しました。また、学生アンケート集計結果も活用し、総合的に分析、評価しました。

自己評価を行うことにより、教職員全員の意識の向上はもとより、自己評価結果を基礎におき、更なる教育の資質向上に努めていきたいと考えます。

2、実施方法

- ① 「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価項目を参考に、全教職員にアンケートを実施する。
- ② 3年生対象のアンケート（3年間の学校生活を振り返って）を実施する。
- ③ 教職員アンケートの集計結果及び学生アンケート結果を踏まえ、校内評価委員会を開催する。委員会構成は以下の通りです。
委員長 校長
委員 事務長、教務主任、広報部長、事務及び教務から各1名選出。
- ④ 学校関係者委員会の開催。
- ⑤ 評価結果の公開は、学校関係者委員会の報告書、必要に応じて諸資料を学校HPに掲載することにより行う。

3、自己評価の項目

以下の10項目について実施します。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

4、評価項目に対する評価

以下の基準で点数での評価を行う。

- | | |
|------------|-----------|
| 適切・・・4点 | ほぼ適切・・・3点 |
| やや不適切・・・2点 | 不適切・・・1点 |

5、評価項目の達成及び取り組み状況

1)教育理念・目標

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	④	3	2	1

①成果と課題

- ・入学時オリエンテーション、教授要綱、授業開始時、入学ガイダンス等様々な形で周知されている。
- ・新法人の東京未来化構想の中心的役割を担い、DHの価値を高めていく。

②今後の改善方策

- ・専任教員の授業において、本校の学校理念やめざす育成人材像等について、今後も事あるごとに周知し、理解できるように伝えていく必要がある。
- ・進行する超高齢社会等の要請に対応できる育成の更なる強化が求められる。

2)学校運営

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	④	3	2	1
・組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	④	3	2	1
・教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4	③	2	1
・業務効率化を図るシステム化がなされているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・今年度、学生募集情報がシステム化された。
- ・業務効率化を図るシステム化については、不足している部分が残る。

②今後の改善方策

- ・法人が変更することをきっかけに、規則類は整備されることが見込まれる。
- ・新法人の経理システム導入により、減価償却費用計算が合理化される予定。
- ・学生掲示板の電子化等、学生に対し親切でわかりやすい管理、運営の検討が求められる。

3)教育活動

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2
・教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・入学する学生層を踏まえ、カリキュラムの見直しがなされ、2019年度より導入される。
- ・教員の知識・技術等学術的なレベルの人員確保はできていると考えるが、人材育成(人として社会に送り出すことの難しさ)この部分の要件を備えた教員の確保の難しさがある。
- ・多様化している学生の個々に指導ができる教員の資質向上のための取り組みが必要。

②今後の改善方策

- ・新カリキュラムの適切な実施に向けての検討。
- ・知識、技術面の研修だけではなく、心理的な側面も支援できる研修の確保。

4)学修成果

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	4	③	2	1

①成果と課題

- ・独自の国家試験対策や就職ガイダンスによる高い合格率や就職状況について評価できる。
- ・今年度取り組みをした退学者防止の対策により、昨年度、一昨年度に比較して改善を図ることができたが、更なる退学率の低減の取り組みが必要である。
- ・卒業生の動向が見えにくい。

②今後の改善方策

- ・退学者が発生しない丁寧な学生指導、寺子屋の活動に重点を置く。
- ・モチベーションを維持し目指す目標を明確にするための方策として、卒業生の講話を増やしたい。
- ・学生面談を定期的の時期だけでなく、必要に応じ実施する時間の確保に努める。
- ・資格取得100%を達成するために、早い段階での国家試験対策を実施する。
- ・精神的負担による退学者を防ぐため、昨年より導入したスクールカウンセラーによるメンタルケアをより充実させる。
- ・同窓会との連携を強め、卒業生への追跡調査が必要である。

5) 学生支援

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・4、ほぼ適切・3 やや不適切・2、不適切・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生への生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	③	2	1

① 成果と課題

- ・学校カウンセラーの関与により、学校生活を安定的に送ることが可能となり、教員への支援体制のフォロー強化にも繋がった。
- ・年2回の成績表の保護者への送付に伴い、保護者との情報の共有にも努めている。
- ・同窓会による勉強会の支援体制はとっているが、頻度的には少ない。
- ・就職指導に専門のキャリアカウンセラーがいると良い。

② 今後の改善方策

- ・学生の状況把握に努め、教務間で共有し支援に努める。
- ・学生が相談しやすい環境を整える。
- ・できれば専門のキャリアカウンセラーの配置。内部人材をキャリアカウンセラーとして活用することも考える。
- ・卒業生への校内活用をPRする。(Web等使用して)

6) 教育環境

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・4、ほぼ適切・3 やや不適切・2、不適切・1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・海外研修等の整備はないが、現状としては良い体制になっていると思う。
- ・カフェ棟のリフォームを行い寺子屋ルームの新設が実現できた。
- ・学生、保護者に向け防災マニュアルブックを配布、警視庁による防災講習の実施。
- ・ホールのプロジェクターの改善。
- ・学生カフェの充実が課題。
- ・新法人の構想を実現するための施設拡充(TDH学生実習附属クリニックの開設)。
- ・施設・設備の劣化にあわせた補修ができるような計画的な対応が必要である。

② 今後の改善方策

- ・引き続き新しい機器の導入をし、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。
- ・社会的ニーズに合わせた実習先の新規開拓に努める。
- ・カフェの学生使用空間の拡充。

7) 学生の受入れ募集

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学生募集活動は、適切に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・国家試験結果、就職結果を伝えるだけでなく、志願者に将来像を抱かせ明確な目標を持たせるように取り組んでいる。
- ・卒業生の講話も取り入れて活動を実施しており、好評である。
- ・募集要項内容も適切である。

② 今後の改善方策

- ・歯科大学の系列校になった事を内外にアピールし、他校との差別化を図る。
- ・指定校推薦での入学者を増やす。
- ・教育力の向上を図り学校評価をあげ、第一希望としてもらえる学校にすることで、自ずと入学者のレベルが上がると考えられる為、教職員での意識向上に努める。

8) 財務

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正におこなわれているか	④	3	2	1

① 成果と課題

- ・減価償却引当金が積めていない為、ユニットの入れ替えなど、必要な設備を整備しきれない。
- ・財政基盤を安定したものにするには、入学者の安定確保が重要。

② 今後の改善方策

- ・定員の充足と退学防止に努め、常に220名以上の在籍を確保する。
- ・学校評価の公開で、財務情報の公開を図られる。

9) 法令等の遵守

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	②	1

① 成果と課題

・専修学校や養成所のガイドラインをきちんと遵守して運営しているので、課題は学校評価と情報公開。

② 今後の改善方策

・これまで以上に学校としてのコンプライアンス体制の強化、教職員に対しての法令遵守をより厳格化する。
・学校自己評価・学校関係者評価を早期に公開する。

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 成果と課題

・夏季休暇中に「キッズイベント」、3月に「桜まつり」として地域の方に校庭開放・歓談を設ける企画等を実施した。
・自治会のお祭りに駐車場を貸したり、電源を提供する等の貢献はしているが、一緒にイベントに参加する等の交流は少ない。

② 今後の改善方策

・地域に根付いた学校としての認知度を図るためにも、積極的な情報発信をし、地域の人たちを巻き込んだ企画を更に増やしていく。
・歯科医療関連他の各種ボランティアへの参加奨励。